2023年１２月１日

１２　月園だより

社会福祉法人鎌倉たんぽぽ会
梶原の森たんぽぽ保育園

今年も早いもので残すところ１カ月足らずとなりました。振り返りますと、子ども達はこの１年様々なことに元気いっぱいに挑戦したり、お友だちや保育士と楽しく過ごしてきました。子ども達がそれぞれ自分のペースで歩み続け、梶原の自然の中でたくましく成長してくれていることを嬉しく思っています。１１月はどのクラスも秋を感じながら、戸外での活動を多く楽しむ事ができました。今月も寒さに負けず、戸外で体を使って遊ぶ楽しさを感じていきたいと思います。

先月２２日（水）、２３日（木）はさくら組（５歳児）のお泊り保育でした。事前に保護者の皆様にもご協力いただき、生活カードを用いて自分達の生活を意識したり、見直すことや洗米活動（さくら組の子ども達が食べるご飯を自分達で炊いています）や勇気の腕輪を手づくりするなどして準備してきました。また、お泊りでやりたい事もみんなで相談して決めてきました。

そうして当日は期待と緊張、不安が入り混じるなか、今年はコロナの制約が緩んだことで、公共交通機関を利用して洋光台にある「こども宇宙科学館」への遠足からスタートしました。子ども達にとってはお弁当は最大の楽しみです。おやつはフルーツポンチが希望で、他のクラスとは異なる特別メニューでした。夕食は餃子でしたが、これもみんなで決めたメニューです。実はお泊り保育の夕食のメニューで餃子は初めてでした。時間配分等で工夫が必要でしたが、さくら組の団結力と給食室の協力もあり、あっという間に２００個の餃子を作り上げました。そして夜はお楽しみ会です。職員もさくら組の子ども達と全力で楽しみました。

不安や淋しい気持ちをお友だちと一緒に乗り越え、２３日の朝に保護者の皆様と再会したさくらさんの笑顔は達成感と自信にあふれ、最高に輝いていました。大きな行事の前は特にご家庭の支えが子ども達にとり大きな力となることを改めて感じるお泊り保育でした。また、子ども達の「この保育園で良かった！」や「あと３～４回お泊りしたい！」の言葉は職員にとって最高のプレゼントとなり、さくら組のみんなの成長に感動したお泊り保育となりました。

本年も、保護者の皆様には園の活動にたくさんのご理解、ご協力、お力添えをいただきましたこと、職員一同心より感謝申し上げます。来年も引き続き、保護者の皆様とご一緒に子ども達の成長を見守っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

年末年始は日本古来の伝統文化に触れる機会でもあります。年末年始の挨拶、お正月の行事や風習などを伝え、ご家族でゆっくりとお過ごしいただくなかで、子ども達にもその良さが根付く機会になれば、と思っています。忙しい年末年始ですが、くれぐれも体調管理、生活リズムに気をつけて過ごし、子ども達の笑顔に包まれ、良いお年をお迎えください。

行事予定

２日（土）　冬まつり

７日（木）　ゆず組保育参加・懇談会

１４日（木）　内科検診（前回未受診の方）

１５日（金）　避難訓練

　　誕生会

２０日（水）　健康相談

２２日（水）　クリスマス会

２９日（金）～１月３日（水）　冬休み

＊内科検診は欠席等で受けていないお子さんのみとなります。１５時頃事務室で行います。

おねがい

＊年末年始のお休みの前に、各自の衣装かごの衣類と靴をお持ち帰りください。１月の登園日にはサイズやお名前などを確認してお持ちください。

＊幼児クラスでは、日頃使っているものに感謝を込め、新年から気持ちよく使えるように、大掃除をする予定です。ご家庭でも、家族の一員としてぜひ、お子さんにもお掃除や整理整頓などを任せ、ご一緒に新年の準備をされてはいかがでしょうか。

冬まつりについて

＊久しぶりに保護者会、オヤジの会の皆様と共催で冬まつりを開催いたします。
お魚の制作やリユースの会にご協力いただき、ありがとうございました。
各クラスに掲示しています『冬まつりマップ』や『産直センターの商品のご紹介』などを良くお読みになり、ご参加ください。なお、産直センターの商品の中には、園の給食やおやつで使用しているものもあります。お米は特別栽培米の７分づき米で、白米に近いおいしさのうえ、農薬を１成分１回しか散布していない安心なお米です。お味噌は庄内産大豆使用の手作り味噌です。ぜひ、ご家庭で給食の味をお試しください。
また、産直センターの商品のお支払は、現金のみとなりますのでご了承ください。

おしらせ

＊どんぐり組のお友だち１名が１１月30日で退園されました。
これからも、たくさん遊んで、たくさん食べて、元気いっぱい大きくなってくださいね。